

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2022年2月～3月）

【要旨】

内政では、3月30日にはホルネス首相がホワイトハウスを訪れハリス副大統領と会談。経済において、ジャマイカの今年の経済成長率を4.3%と予測、1月のインフレ率は9.7%に達し、観光はパンデミック以前のレベルに回復している。外交においては、外交ウィークで総督公邸においての晩餐会に藤原大使出席。ケンブリッジ公ウィリアム王子とキャサリン妃が、女王即位70周年を記念して来訪。日・ジャマイカ関係では、2月23日天皇陛下62歳誕生日レセプションが開催され、3月22日NSWMAにごみ収集トラック2台分の贈与が決定。新型コロナウイルス関連においては、ワクチン接種人数の合計は138万9894人（3月24日）。陽性率は4.9%となっている（3月28日現在）。

1 内政

（1） 法案関連

ア 上院は、地方選挙の実施を12ヶ月延期する一時的な修正法案を承認した。（2023年2月28日までには実施）（2月7日付広報局）

イ 2014年10月に国会を通過したジャマイカ障害者法が、14日発効される。労働・社会保障省のジェニングス・テクニカルディレクター長は、「この画期的な法律は、障害者が享受できる権利や特権をもって、社会のその他の人々と同様に、十分に平等な楽しみを促進、保護するものである。」と述べた。（2月14日付広報局）

（2） 新年度政策及び計画の発表

パトリック・アレン総督より10日、2022年度のホルネス政権における政策及び計画が発表された。（2月10日付グリーンナー紙）

（3） 財務・公共サービス省大臣であるナイジェル・クラーク博士が2022年度米州開発銀行（IDB）及び米州投資公社（IIC）の理事会会長に任命された。（3月29日付オブザーバー紙）

（4） ホルネス首相は3月30日、アメリカ副大統領カマラ・ハリス氏との会談のためアメリカのホワイトハウスを訪れる5日間の訪問を開始する。首相は29日火曜夜、ジョンソン・スミス外務大臣及び5人の代表団と共にレーガン国際空港に到着。駐米ジャマイカ大使オードリー・マークス氏と他の大使館員によって出迎えられた。ハリス副大統領との会談後、イエレン米財務省長官、ブリンケン米国務長官、米国際開発庁局長を含む高官と会談。（3月30日付オブザーバー紙）

2 経済

(1) 経済動向

ア IMFは15日、今年のジャマイカの経済成長率を4.3%と予測しており、昨年の予測4.7%より減少した。(2月6日付グリーナー紙)

イ 10日、国会にて2022年度の概算予算は9,120億ジャマイカドルと提出された。(2月14日付広報局)

ウ 1月のジャマイカのインフレ率は、食料品の高騰に伴い、9.7%に達した。年間インフレ率は、前は昨年末に8.5%まで上昇した。(2月16日付グリーナー紙)

(2) EV導入に係る戦略的枠組み

パトリック・アレン総督は10日、国会開会の式辞にて、政府はジャマイカにおける電気自動車(EV)の導入に係る戦略的枠組みの策定を進めていることを述べた。(2月11日付広報局)

(3) 観光レジリエンス・デイ

パートレット観光大臣は17日、アラブ首長国連邦にて開催されているドバイ・エキスポ2020にて、観光レジリエンス・デイを発表した。毎年2月17日が観光レジリエンス・デイとなる。(2月18日付広報局)

(4) 燃料税の再考を迫られる

3月8日、国会議事堂にて予算討論会のオープニングスピーチの中でクラーク財務大臣はガソリンに係る特別消費税(SCT)の7%を保持することを再確認した。代わりに社会的弱者への20億ドルの臨時救済支援を提案。ジャマイカガソリン販売協会(JGRA)会長はSCTを堅持することに失望していると表明。JGRAはガソリンスタンドでの燃料費上昇が最も弱者である市民だけでなく各部門においても影響が及んでいると述べた。先週の水曜日、ペトロジャムはE-10 87は1ℓあたり\$186.93、E-10 90は\$191.92で販売されるだろうと述べた。自動車のディーゼルオイルは1ℓあたり\$190.97の価格設定。

(5) 観光部門がパンデミック以前のレベルに回復

パートレット観光大臣によると3/17(木)からの週末にかけて、2つの主要空港に到着する訪問者数が3万5千人に達すると予想。ジャマイカの主要な生産部門の一つである観光産業が、新型コロナウイルスによるパンデミックからの落ち込みから回復しつつある。(3月14日付ラジオジャマイカニュース)

(6) 光熱費救済措置

2022年4月から4か月間にわたり、毎月電気の消費量が200キロワット時までのジャマイカ公共サービス会社(JPS)の顧客45万7786人は、請求に対

して20%分政府からの援助を受けられる。世界市場におけるエネルギー価格の上昇を緩和するため、ホルネス政権は、健康と教育を通しての発展プログラム（PATH）に参加している福祉学生の輸送支援という形で救済を提供している。（3月23日付グリーンナー紙）

3 外交

(1) 対英国関係

- ア 首相府は、英国ケンブリッジ公ウィリアム王子及びキャサリン妃が3月にジャマイカを訪れ、総督訪問を行う提案があったことを明らかにした。（2月9日付グリーンナー紙）
- イ エリザベス女王即位70周年を記念し、3月22日～24日にケンブリッジ公ウィリアム王子及びキャサリン妃がジャマイカ公式訪問を行う。お二人はアレン総督やホルネス首相夫妻、ウェミス-ゴーマン海軍少将を表敬訪問の他、総督公邸での公式晩餐会に参加、キングストンのショートウッド教員養成大学、セント・キャサリン県のスパニッシュタウン病院、セント・ジェームス県のカリブ歩兵訓練センターを訪問する。（3月19日付広報局）
- ウ ケンブリッジ公ウィリアム王子とキャサリン妃の到着を待つ間、ニューキングストンのトラファルガーロードにある英国高等弁務官事務所の向かいにプラカードを掲げて多数の抗議者が結集し、君主制による奴隷制度への謝罪や賠償を要求した。（3月22日付グリーンナー紙）
- エ ウィリアム王子はジャマイカ訪問の間、奴隷制度に対して「深い悲しみ」を表した。しかしながら奴隷貿易での英国の役割において、賠償を求める抗議者達による謝罪要求には応じなかった。（3月24日付オブザーバー紙）

(2) 在ウクライナ・ジャマイカ人への支援

ロバート・モーガン情報大臣は、旧ソビエト連邦がロシアに侵攻されるか否かの緊張が高まる中、ウクライナのジャマイカ人学生へは必要な支援が行われていることを報告した。（2月9日付オブザーバー紙）

(3) 外交ウィーク2022

毎年恒例の外交団カクテルレセプションおよび晩餐会が3月7日から11日まで、総督公邸にて開催された。国際的にジャマイカの存在感を増大させていくとアレン総督。テーマは「国家の活性化：世界的な卓越性、我々のミッション」。（3月1

5日付広報局)

4 日・ジャマイカ関係

(1) 天皇誕生日レセプション関連

ア 2月23日、天皇陛下62歳誕生日レセプションが開催され、キャンベル外務・貿易省国務大臣は、乾杯の挨拶にて「1964年3月16日、ジャマイカと日本が外交関係を開始して以来、ジャマイカは日本のODAの恩恵を受けてきた。」と話した。(2月26日付広報局)

イ 藤原大使は天皇陛下62歳誕生日レセプションにて、日本政府よりジャマイカに、ごみ圧縮収集車2台が供与されることを発表した。(2月28日付オブザーバー紙)

(2) 国家廃棄物処理事業局(NSWMA)はごみ収集トラック2台分の購入費用21万936米ドルの贈与を在ジャマイカ大使館から受け取った。(3月23日付広報局)

5 新型コロナウイルス関連

(1) 新型コロナウイルスワクチンプログラムのまとめ(3月24日午前9:30現在)

ア ワクチン接種人数合計 138万9894人

2度接種型ワクチン

1回目接種者 68万7420人

2回目接種者 57万8692人

1度接種型ワクチンの接種者 9万1485人

(内、高リスクのワクチン接種者 3504人、追加ワクチン接種者 2万8793人)

イ ワクチン未接種者 195万5187人(3月24日付保健省)

(2) 新型コロナウイルス臨床管理のまとめ

3月28日(月)現在、新規感染者数は23人、死亡者数1人、回復者数98人。

島内では12万8727ケースが報告されている。累積で92万2458回テストが実施されており、陽性率は4.9%となっている。(3月29日保健省)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。